



ぎんなん便り

2013年10月

VOL. 7



イラスト wanpaug

少しずつ涼しくなり、秋の気配を感じる今日この頃です♪皆様、体調はいかがですか？

先月まではまだまだ暑い日もありましたが、台風が過ぎ去るともう秋！

そろそろインフルエンザなどの予防接種も各医療機関で始まる頃です。

各自で冬への準備をしていきましょう。

そして美味しいものを食べたり、読書をしたり、運動を楽しみながら秋を堪能いたしましょう♪

9月のぎんなん便りは、少し時期をずらして10月号となりました。今月も元気いっぱいに行きましょう！！



●患者の独り言

今月も素敵な独り言が2件も寄せられました。

赤い糸で結ばれた私の人生聞いて下さい/H.U.

2007年1月13日、便に少し血が付いていたので、軽い気持ちで近くの病院で受診、その時は大腸腫瘍と診断されました。直ぐに内視鏡の予約をしました。そして10日間検査入院。

その結果思いもよらない病名が・・・「直腸癌」。エエッ！

「何で私がこんな目に合わないといけないの」、「なんで！なんで！」、「何かのまちがいや」、こんな日々が続きました。

やっと落ち着きを取り戻した頃、がんの出来た場所が肛門に近い為、人工肛門になるかもしれないということで、今度は目の前が真っ黒。真っ白というよりくらくらとめまいがしそうでした。

手術をして人工肛門造設ということになり、家族の希望もあり大阪市大病院に紹介状を持参してお願いすることになりました。

手術は2月26日、約8時間かかりました。

大きな手術とストーマ造設ということで不安が一杯でした。

担当の看護師さんが手術までの間ストーマの本を持って来てくださいました。「わからないことは聞いて下さい」とおっしゃいました。

本の中にはこの様な事が書いてありました。

大腸の中で直腸部分は約20cmの長さがあり、がんの出来た場所が肛門に近い場合、手術で肛門も一緒に切除する。手術後は大腸から便を出すための排出口を開け、左のお腹の外の袋に便をた

